

# 秋号

第158号

## 財団法人 山梨県交通安全協会

財団法人 山梨県交通安全協会各支部

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-280-5550  
〒400-0202 南アルプス市下高砂847  
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>)

- |          |           |             |          |           |
|----------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 南アルプス交通安全協会 | 韮崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会  |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会  | 市川交通安全協会    | 笛吹交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会  | 富士吉田交通安全協会  | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

自動車安全運転センター山梨県事務所  
社団法人・山梨県バス協会  
山梨県二輪車安全普及協会

社団法人・山梨県トラック協会  
社団法人・山梨県自動車整備振興会  
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会  
山梨県軽自動車協会  
社団法人・山梨県建設業協会



# 運転は人に社会に思いやり

### 秋の全国交通安全運動

9月21日から30日



ドライバーに注意を呼びかける園児ら

＝大月市の国道20号

### 交通安全カレンダー

- 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成19年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 子供自転車山梨県大会
- 二輪車安全運転山梨県大会

秋の全国交通安全運動が九月二十一日から三十日までの十日間実施されます。

フドウ狩りなどで、県内の交通量が增加することから、交通事故の多発が予想されます。こうしたことから期間は「運転は人に社会に思いやり」を運動のスローガンに県民全員が交通安全の徹底を図るため行われます。

運動中は①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に子どもと高齢者を中心として)②後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③以上①、②は全国重点③飲酒運転等悪質・危険な運転の追放(山梨県の重点)などを重点目標に悪質運転追放に努めます。

山梨県交通安全協会は、期間中一人の犠牲者も出さないように関係団体と連携し、県民総ぐるみで運動を行い、交通事故撲滅に力を入れていきます。

### 内容紹介

- 2面 県警が高齢者交通安全対策や飲酒運転撲滅に全力
- 3面 秋の全国交通安全運動 山梨県内の主な活動内容
- 4、5、6面 各地区安協の活動
- 7面 高根東小児童が 自転車全国大会出場
- 8面 協賛団体の交通安全情報

### 交差点

▼AT車の特性を知って事故防止を。

▼山梨県の平成十七年十二月末現在の自動車保有台数は、七三三、七三二台が、

関東運輸局山梨運輸支局に登録されている。その大半がAT車である。AT車は、運転の負担が軽減されるが「運転が楽」ということは決して「安全」であることを意味していない。AT車を正しく理解していないとAT車特有の「クリーブ現象」(ブレーキを離すと車がゆっくりと動き出す現象)による事故を起こしかねない。▼AT車特有の事故の大半は発進時に起こっている。その原因はチェンジ(セレクト)レバーの入れ間違いや手順の間違ひである。停止中にチェンジレバーを動かす時は、必ずブレーキを踏んでおき発進するまでは絶対にフットブレーキから足を離さないクセをつけることである。これで発進時の事故の大半を防ぐことができる。AT車をスタートさせる時にはクリーブ現象を利用してスタートする。エンジンが冷えている時やエアコンを使用している時には、エンジンの回転数が高くなっているため急発進することがあるので注意が必要である。▼短い信号待ちの時はDレンジのままブレーキを踏んでおき、長い信号待ちの時はNレンジにしてパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでおく。長い時間Dレンジのまましていると、身体を動かしたりしているうちにブレーキから足が離れて前車に追突ということも起こりかねない。ご注意ください。

# 高齢者の「安全」重点

## 県警 反射材はあなたの守り札



総合交通センター運転シュミレーター



高齢者の二輪車安全教育

ことし八月三十一日現在、県下の交通事故死者数は四十二人で、昨年比六人増加しています。特に六十五歳以上の高齢者の交通事故死者数は十七人で、全死者数の四割強を占め、大変深刻な状態です。高齢者事故は加齢に伴う身体機能の変化に起因のケース

が目立っています。個人差はありますが、一般的に視覚・聴覚・筋力・平衡感覚・反応動作などの衰えにより歩行速度が遅くなる、危険を回避するための咄嗟の行動が困難になる、危険の発見及び、回避が遅れがちになる、自転車、二輪車での走行が不安定になるなどの特徴がみられます。歩行中の留意点は、信号機

や横断歩道のあるところを横断。信号や横断歩道がない場所では左右がよくみえるところから横断。合図は手を挙げてはつきりと、明るい服装で、夜間は反射材を利用する。自転車運転中の留意点は、



夜の歩行時は明るい服装を心掛け、反射材を身に付けましょう。

山梨県・山梨県交通対策推進協議会・山梨県警察



高齢者宅訪問活動



甲府刑務所から感謝状を贈呈された県交通安全協会の事務局スタッフ  
 南アル 八市

青信号でも右左折車の動きに注意。夜間はライトを点灯し、側面にも反射材を貼付する。自動車運転中の留意点は、交差点の安全確認を徹底。青信号でも油断は禁物、控えめな速度で走行しましょう。



飲酒運転は悲惨な事故のもと

# 酒はダメ!

## 飲んだら乗るな

先頃、福岡県内で飲酒運転の公務員(二十二歳)の乗用車が、前を走っていた一家五人乗りの乗用車に高速度で追突し、そのはずみで前の乗用車は橋の欄干を突き破り海中に転落、後部座席の幼児三人が死亡するという痛ましい事故が発生しました。警察庁では、重大事故再発防止のため全国の警察本部に緊急の通達を出し、「飲酒運転抑止対策の強化」を指示しました。山梨県警では、これを受け、九月早々から飲酒運転の取締り強化、飲食店への働きかけ、自治体への「飲酒運転追放宣言」の要請などを主とした飲酒運転根絶対策を実施しています。悲惨な重大事故を招く飲酒運転を根絶しましょう。

## 甲府刑務所から感謝状

県交通安全協会が甲府刑務所から感謝状を贈呈されました。長年にわたり出所間近の受刑者に対する交通安全教育を実施していることが評価されました。

同刑務所は、出所前の受刑者に対して円滑な社会復帰を

してもらうと交通安全指導を進めています。交通事情の急速な変化に伴い、専門的な立場からの指導が必要と考え

同安協に依頼。一九九四年から職員が最近の交通事情や安全教育の普及を主な内容に、毎月最終月曜日に一時間講話を行ってきました。感謝状は第五十六回社会を明るくする運動月間に合わせに贈呈されました。講師を務めている同安協の大森常務と話しています。

## チャレンジ200

# チームで無事故・無違反 頑張ろう200日間



代表チームへの参加ステッカー交付  
 県庁

セーフティドライブ・チャレンジ200は、セーフティドライブ・チャレンジ作戦実行委員会(委員長 石井紀代美 県民室長が主催しているもので、県内に居住または勤務する人五名一組のチームが、六月十五日から十二月三十一日までの二百日間を、いつにも増して安全運転に心がけ、無事故・無違反の達成を目指しています。無事故・無違反の達成チームには、抽選で三十万円の旅行券などの豪華賞品やリニア試乗特別賞など約三百本の賞品が当たります。また、全チームに記念品が贈られます。参加チームの皆さん、無事故・無違反達成を目指し、頑張ります。

期間にわたり無事故・無違反を競うコンクールです。このコンクールは今年で十四回目となり、参加チームは、過去最高の五千六百八十三チーム(二万八千四百五十五人)が参加し、六月十五日に県議会議事堂前で開催し、山本知事から激励を受けスタートしました。参加チームの皆さんは、この期間は、いつにも増して安全運転に心がけ、無事故・無違反の達成を目指しています。無事故・無違反の達成チームには、抽選で三十万円の旅行券などの豪華賞品やリニア試乗特別賞など約三百本の賞品が当たります。また、全チームに記念品が贈られます。参加チームの皆さん、無事故・無違反達成を目指し、頑張ります。

# 秋の全国交通安全運動

# 県内の主な活動内容

所属	行事名	日時	場所	内容
高速隊	街頭指導所	9月26日(火) 午後2時00分～	中央自動車道 上り談合坂SA	交通事故防止資料を配布すると共に、SA利用車両を対象に車両の点検整備、シートベルト衝撃実験、警察車両及び交通事故写真の展示等を実施し、交通事故防止を呼びかけ交通安全思想の高揚を図る。
甲府	交通安全運動出発式	9月20日(水) 午後1時30分～	ウェルシティ甲府	交通安全出発式の後、主に高齢者を対象とした反射材実験により反射材の効果を確かめる。さらに、落語により交通事故防止を呼びかけると共に、安全運動の実施について啓発活動を展開する。併せて交通遺児バザーも開催する。
南甲府	交通安全フェスタ	9月21日(木) 午後1時30分～	甲府市総合市民会館	高齢者の交通事故防止を目的に、県警交通安全教育車「さちかぜ号」による交通講習と芸人の林家ライス・カレー子による「交通安全漫談」などにより、高齢者に楽しみながら交通安全を考えてもらう。
南アルプス	夜間における 高齢者交通安全講習	9月22日(金) 午後7時00分～	山梨県総合交通センター	県下的に多発傾向にある高齢者事故、夜間歩行者事故防止の取り組みとして、モデル地区の高齢者に対し、夜間の視認性等を体験してもらうことにより、反射材の必要性等を周知すると共に交通安全意識の高揚を図る。
韮崎	実践・体験型の 高齢者交通安全教室	9月19日(火) 午前9時00分～	山梨県総合交通センター	甲斐市の旧双葉町の高齢者を対象に、交通講話を実施すると共に、高齢者ドライバーの実車による交通安全教習や、制動距離の実験、斜め横断の実験、ダミー人形の衝突実験等を行い、交通ルールの遵守と交通事故防止を図る。
長坂	高齢者地域交通安全 推進リーダー委嘱式 及び交通安全ゲート ボール大会	9月22日(金) 午前9時00分～	長坂町総合スポーツ公園 ゲートボール場	管内の各地域から選出された選手及び審判員等を「高齢者地域交通安全推進リーダー」として委嘱状・リーダー証ワッペンを交付し、代表が交通安全宣言を宣誓した後、交通安全講習を実施する。また、ゲートボール大会を通じて、推進リーダーが高齢者事故防止を呼びかける。
鵜沢	シルバーナイト スクール	9月30日(土) 午後6時00分～	ニスカ株式会社	増穂町が5年計画で実施している事業で、町内各地区高齢者に参加・体験型の交通安全教室への参加を促す。夜間の反射材効果、交差点での横断方法、車速と停止距離の実験等を体験してもらい、交差点や夜間の歩行の危険性を認識することにより交通安全意識の高揚を図る。
南部	幼稚園児参加による 交通安全パレード	9月22日(金) 午前10時00分～ 9月28日(木) 午前10時00分～	南部町南部地内商店街	幼稚園児が安全運動行事に参加することにより、園児のみならず父兄等の交通安全意識の高揚を図り、さらに商店街をパレードすることにより、町民の交通安全意識の高揚と安全運動の周知徹底を図る。9/22は南部みどり幼稚園、9/28は栄保育園・睦合保育園が参加。
市川	交通安全出発式	9月21日(木) 午前8時30分～	市川警察署前	市川南幼稚園児が4つの約束を唱和した後、風船を上げる。また、市川警察署管内の業者とタイアップして交通安全標語入りの割り箸袋2万袋を作製。業者は21日から注文先の会社などに配食する弁当に付け、交通事故防止の周知を図る。出発式当日にも、交通安全の箸袋を添えた「交通安全弁当」が式典招待者らに振る舞われる。
笛吹	高齢者の実践型 交通安全教室	9月26日(火) 午後1時30分～	山梨県立園芸高等学校 教習コース	県立園芸高等学校の自動車教習所を使用して、山梨中央自動車教習所の教官の指導により、石和町在住の高齢者を対象に、普通乗用車、バイク、自転車、歩行者等の交通事故防止に対する実践的な交通安全教室を行い、安全運動の啓発と事故防止を呼びかける。
日下部	街頭指導所及び 交通安全パレード	9月21日(木) 午前7時50分～	JR山梨市駅から 山梨市役所	本運動期間初日に、管内主要交差点等において、黄色い羽根配布及び各種安全運動啓発品等を配布する啓発活動を実施後、警察署パトカー、市役所青色回転灯パトカー、オープンカー(警察署長、市長、地区在住高齢者と子ども同乗)等の車両による広報啓発パレードを実施する。
塩山	交通安全 ゲートボール大会	9月22日(金) 午前8時00分～	塩山総合グラウンド	高齢者の交通事故防止を目的として、高齢者対象のゲートボール大会を開催する。大会に際し交通安全講話を実施し、高齢者の交通安全意識の高揚を図る。
都留	宅配業者による高齢 者宅への反射材配布	9月21日(木) 午前7時00分～	佐川急便(株)都留店	車両の使用頻度の高い宅配業者(佐川急便)に対する交通安全教室を実施した後、業者に託した反射材を管内の高齢者宅へ配布し、高齢者の夜間の交通事故防止と反射材着用の周知徹底を図る。
富士吉田	秋の全国交通安全 運動出発式	9月18日(月) 午前10時30分～	富士山五合目 道の駅富士吉田	甲州軍団の武田24将の武将姿で富士山五合目小御嶽神社で交通安全祈願、五合目駐車場にて全国に向け交通安全宣言を行い、また道の駅富士吉田にて安全宣言、古式の形の演武、バンド演奏等の出発式を開催して、交通安全意識の高揚を図ると共に、運動の広報を行う。
大月	落語家の1日警察署長 による交通安全講話	9月22日(金) 午後1時00分～	大月警察署 大月市市民会館	地元出身の落語家、三遊亭小遊三に対し1日警察署長の委嘱式を行い、その後街頭指導所で交通安全を広報した後、市民会館において主に高齢者を対象とした交通安全講話を開催し、高齢者の交通事故防止を図る。
上野原	高齢者交通安全講習 (夜間反射体験)	9月26日(火) 午後5時00分～	上野原自動車教習所	上野原市内の高齢者を対象に参加・体験・実践型の交通安全教室を開催し、運転適正診断による運動・運転能力の認識、教習所教官による実車指導、自転車乗車指導、薄暮時の危険性及び早めのライト点灯の有効性、さらには反射材の効果実験を行う等高齢者交通事故防止を図る。

平成十九年「交通安全ポスター」全日本交通安全協会など主催、内閣府・警察庁・法務省など後援、JA共済連・日本自動車工業協会協賛の募集が十一月下旬から来年一月三十一日まで行われます。今年十一月下旬に発表される内閣総理大臣賞受賞の平成十九年「交通安全年間スローガン」を原文のまま入れて制作。信号機や道路標識、横断歩道などは正しく描くことが必須条件となる。応募要領は次の通り。

◇応募資格▽一般部門 一般、学生、高校生、中学生も可▽子ども部門 小学生に限る

◇応募作品サイズ▽一般部門 B2判(51・55×72・88)タテ型▽子ども部門 四ツ切り画用紙かB3判でタテ、ヨコ自由(いずれもレタリング、イラストレーション、写真のデザイン化も自由。パソコンを利用して描いたものも可。入賞作品の著作権は、主催者に帰属し、ポスター作成の際、加筆修正することがある。応募作品は返却しない。

◇応募方法 作品は一人何点でもよく制作は多数の共同作品でも可。自作、未発表のものに限る。住所、氏名、生年月日、職業(学校名)、電話番号を明記した応募票(自作可)を添付の上、〒100-8051東京都千代田区一ツ

## 交通安全ポスター募集

11月から全日本安協

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店  
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目16-1  
富士急ビル6階  
TEL055-228-0691

本交通安全協会会長賞、毎日新聞社賞がある。小学生には応募者全員に参加賞を贈呈する。

大臣奨励賞、優良作として全日

橋一ノノ一毎日新聞東社事業本部「交通安全ポスター」係(電話03・3212・0188)へ送付する。ただし、学校からの一括応募の場合は必ず学校の連絡先と応募者リストを添付する。

◇発表 平成十九年三月中旬  
◇表彰式 同年三月下旬◇最優秀賞 内閣総理大臣賞(計三三三)  
◇内閣総理大臣賞状と賞金各二十万円(ただし小学生には本人に十万円相当の賞品と在学に十万円相当の記念品)ほかに優秀作として内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞、文部科学大臣奨励賞、優良作として全日

# 秋へつなぐ「安全」



7年間毎月行われている甲府交通安全協会 敷島支部の街頭指導活動 —甲斐市中下条

甲府交通安全協会敷島支部（近藤昭支部長）が七年間、地元自治体職員や甲府警察署員らとともに、毎月末日の日曜日に街頭指導所を開設、自主的に交通安全の呼びかけを進めていきます。

## 7年間、毎月の街頭指導

### 自治体や警察と協力

北、南の両駐在所員も必ず参加して実施しています。街頭指導所に参加するメンバーは買い物客や通行車両のドライバーらにもすでに顔なじみ。ごころうさぎまなど声がかかることもしばしばあります。

市川交通安全協会（八木吉治会長）は夏の交通事故防止県民運動の一環として、七月二十六日、市川三郷町市川大門の三郡東橋西詰め交差点付近に街頭指導所を開設しました。

市川警察署管内の交通関係団体などから役員ら約二十人が参加。交通事故防止を呼びかけるチラシや交通安全グッズなどをドライバーらに配布しました。また自転車利用者にも交通指導を実施、きめ細かい活動を行いました。

都留交通安全協会（高部愛明会長）は七月二十九日、都留市田野倉のホームセンターオーツル店駐車場で、夏の事故防止県民運動の一環として、街頭指導を行いました。

同安協は八月十九日にも都留市の東桂にある都留ドライブイン前に街頭指導所を開き、啓蒙活動を展開しました。

八月五日には同安協道志支部（水越茂広支部長）が国道413号沿いの道志村役場前に街頭指導所を開設し、同支部役員ら十五人が交通安全を呼びかけました。

### 高齢者宅30軒を訪問 事故防止対策呼びかけ

富士吉田交通安全協会（渡邊日出男会長）は七月二十六日、富士河口湖町船津地区で交通安全高齢者宅訪問活動を展開しました。高齢者宅訪問は今年六月に続き二回目となりました。

### 子ども、お年寄りが 熱心に交通安全学ぶ

甲府交通安全協会（保坂輝行会長）の北新支部（山本達

雄支部長）と塩部・緑が丘支部（石川忠光支部長）は交通事故防止に向けて地区内のカーブミラーの点検と清掃活動を展開しました。約三十人が参加。地区内の三百五十本のカーブミラーを点検。鏡が曲がっていたり、汚れているものを改善・清掃を行いました。

また北新小交通安全少年団（団員二十六人）は八月二十七日、甲府市御岳町の御岳文芸座（旧能泉小校舎）で夏期校外研修を実施。北新支部の指導などで自転車の正しい乗り方など熱心に学びました。

塩山交通安全協会（内藤進会長）は夏の交通事故防止県民運動の一環として、甲州市塩山三日市場の塩山高校西交差点に街頭指導所を開設しました。

交通安全グッズなどを配布する都留交通安全協会役員ら

多発警報発令に伴う緊急総合街頭指導所を開設、通行中のドライバーらに交通安全を呼びかけました。

また、各支部ごとにさまざまな取り組みを行いました。



お年寄りに事故防止策について話す富士吉田交通安全協会役員ら —富士河口湖町船津



北新小交通安全少年団が開いた夏期校外研修 —甲府市御岳町



街頭指導所で交通安全を呼びかける塩山高生徒ら —塩山高西交差点

塩山高生徒らも交通安全を呼びかける活動を行いました。



交通安全協会の補修をする市役所職員ら

また、各支部ごとにさまざまな取り組みを行いました。

引越のことなら  
まずお電話を！

まかせて安心

ISO 9001:2000 認証

松本引越センター  
山梨営業所

TEL. 055-222-0222  
0120-22-0222  
中央市西新屋330-7

# 事故防止へ一丸

## 県内各地で啓発運動活発

南甲府交通安全協会(山下譲二会長)は八月三十一日、秋の全国交通安全運動に先駆けて甲府・小瀬スポーツ公園で「交通安全のつどいin南甲府」を開きました。夏休みが終わり子どもたちの登下校が始まることや、夏の「猛暑後遺症」と季節の変わり目などで体調を崩しやすく集中力が低下する時期でもあることから、夏の交通事故防止県民運動と秋の交通安全運動の間を「注意力の狭間」と位置づけ、安全運動意識を常に持ってもらうようと実施しました。県内の各地区安協でも、安全運動の期間外でも地道な活動を行う組織も多く、県民の交通安全意識が高まっていることを裏付けています。

## 気を引き締めて新学期 南甲府がつどい

交通安全のつどいin南甲府には、約六百人が参加。事故状況などの説明があったが「安全運転に心がけ、道路を横断する際の安全確認な



風船を飛ばす大鎌田保育園の園児ら



山城小学校児童による鼓笛演奏  
＝いずれも甲府・小瀬スポーツ公園

ど、交通ルールを守ることを誓います」と交通宣言。子ども代表として大鎌田保育園の年長組・土橋悠斗ちゃんと久保田寧々ちゃんの二人が「僕たち、私たちは道路に飛び出しません。道路で遊びません」などと声を合わせて交通安全宣言を行いました。

さちかせ号による交通講話を聞いた後、全員でやまなみ広場に集合。大鎌田保育園児によるマーチングバンドや山城小児童による鼓笛演奏などが華やかに行われました。続いて参加者全員で交通安全の願いをこめて風船五百個を大空高く飛ばしました。

南甲府交通安全協会南口支部の各校時パトロール



八月四日にはJRA東京競

馬場の住吉道紀場長から山下会長に夜間チョッキやロングツインライトなど交通安全用品の寄贈がありました。

## 名物の「笹子餅」配り 交通事故防止訴える

○：大月

大月交通安全協会(山下道男会長)は七月二十一日、大月警察署前に夏の交通事故防止県民運動の一環として街頭



大月名物「笹子餅」などを配布し交通安全を呼びかける大月保育園の園児ら  
＝大月警察署前

旗(ボンビー)三十本を贈呈しました。研修会も開かれ、南アルプス市の県交通安全センターを訪問。シートベルト衝突体験などを行ったほか、体験コースでは自転車の正しい走行方法などについて学びました。



長坂安協女性部(写真上)が作成したオオムラサキのマスコット(写真右)



## 安協女性部員が大活躍 心温まる手作り安全グッズ

交通安全運動に欠かせないのが安全グッズ。反射材やティッシュペーパーなどおなじみのものも多い中で、近年広がり始めたのが手作りグッズです。各安協の女性部の人たちが一つひとつ「事故防止」の祈りをこめて作る愛情たっぷりの贈り物が好評です。

長坂交通安全協会女性部(清水さゆり部長)は秋の全国交通安全運動に向けてオオムラサキの里ならではのオオムラサキのマスコット。一針ひと針手縫いのオオムラサキは濃紺地と青地の2色。黄色い斑紋とピンクの触覚もかわいらしく作られ、秋の全国交通安全運動には人気を集めそう。

大月交通安全協会婦人部(松永和子会長)も恒例の匂い袋350個を作成。秋の全国交通安全運動に配布する。子育て中のお母さんたちも多く「事故防止」の祈りをこめて作られた愛情あふれる逸品だ。

男性会員が多かった安協で最近女性の活躍がめざましい。女性ならではのきめの細かさ、温かな心配りが交通安全への意識啓発に大きな原動力になっています。



大月安協婦人部(写真上)が真心込めた匂い袋(写真右)



## 県総合交通安全センター訪問 交通安全教育施設を見学

○：長坂

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)の役員代表らは南アルプス市の県総合交通安全



電動車いすに試乗する長坂交通安全協会役員＝南アルプス市の県総合交通安全センター

を訪問、交通安全教育施設などを見学しました。長坂警察署管内の人たちにも同センターを積極的に利用してもらうため、安全教育の拡大を図ろうと実施しました。役員代表ら約三十人が参加。同センター職員から施設内を案内してもらいながら交通安全教育機器を実際に使い学びました。また、屋外では今後利用者の増加が見込まれる電動車いすに試乗、その機能などについて学習しました。

### 青年部が研修会開催 街頭では安全指導も

○：南 部

南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は七月二十二日、南部警察署で同協会青年部研修会を開催しました。

青年部や交通関係団体の役員ら約三十人が出席。会長や南部警察署長らの挨拶に続き、交通事故にかかわるビデオを見て、事故防止に向けた具体的な方法などについて考えました。研修会後には南部



街頭指導所で交通安全を呼びかける南部交通安全協会役員ら  
＝南部町内

指導所を開設。ドライバーに交通安全を訴えるチラシや同安協役員や同警察署員らで作成したうちわを配りました。

八月五日には南部交通安全協会栄支部が交通関係団体役員らも含め約二十人が街頭指導所でドライバーに交通安全を呼びかけました。

### 死亡事故の抑止目指し 街頭キャンペーン展開

○：鵜 沢

鵜沢交通安全協会（深沢豊会長）は増穂町交通死亡事故抑止緊急対策と、夏の交通安全



街頭キャンペーンを展開する鵜沢交通安全協会役員ら  
＝増穂町役場前

交通安全グッズ配布  
通動・通学者に訴え

○：笛 吹

笛吹交通安全協会（三枝力会長）は夏の交通事故防止県民運動の一環として、笛吹警察署管内で交通事故防止を訴える活動を展開しました。



通学者に交通安全を訴える笛吹交通安全協会役員ら  
＝JR石和温泉駅前

チラシなど配布し  
交通安全呼びかけ

○：上 野 原

上野原交通安全協会（和田博夫会長）は夏の交通事故防止県民運動の一環として街頭指導所を開設しました。七月三十日には中央自動車道上野



安全運転を呼びかける上野原交通安全協会役員ら＝中央自動車道上野原IC

を配り安全を訴えました。  
街頭指導所を開設し  
啓蒙品配り安全訴え

○：日 下 部

日下部交通安全協会（中澤孝会長）は夏の交通事故防止県民運動の一環として、七月二十一日、日下部警察署前の国道140号沿いに街頭指導所を開設しました。



街頭指導所で交通安全啓蒙品などを配布する日下部交通安全協会役員ら  
＝日下部警察署前の国道140号

してうちわやキーホルダー、眠気覚まし濡れタオルなどを配りました。

### 交通死亡事故が多発 非常事態警報を発令

○：南アルプス

南アルプス交通安全協会（刃刀長夫会長）は七月二十八日、南アルプス・白根桃源文化会館で女性部交通安全事故防止研修会を開催しました。

女性部員約百二十人が出席。南アルプス警察署長が同署管内や県内の交通事故発生状況を報告しました。また、高齢者宅の戸別訪問による事故防止指導など女性ならではの



のきめ細かい活動を推進してもらおうと要請しました。また、八月九日には約二百六十人が参加して交通死亡事故抑止南アルプス市民大会を開催しました。

### 「警報機付横断旗」 小学校に150本贈呈

県安協が平成24年度まで計画

県交通安全協会は九月六日、県教委に警報機付横断旗「ボンビー」を寄贈しました。重点目標「子どもの交通安全



警報機付横断旗の贈呈式  
＝県庁

事故防止」実現に向けて、警報機付横断旗を県内の小学校に贈呈、登校時の交通安全指導に役立ててもらいます。平成十七年度から同二十四年度まで八年度で、県内の六教育事務所を通じて、各管内の小学校で活用してもらうことにしています。今回は昨年度の峡中管内に次いで二回目。峡中教育事務所管内の四十二校に計百五十本が配布される予定です。

贈呈式には県安協の飯野昇二専務理事や大森勲常務理事、小澤公彦庶務課長らが出席、廣瀬孝嘉県教育長に横断旗が手渡されました。

### 交通安全協会の 活動がいかに

市川交通安全協会は、甲府盆地の南西部に位置する神明の花火の町市川大門、市川團十郎家発祥の町三珠、ハンコの町六郷の三町が合併した市川三郷町、それに武田信玄公隠し湯で有名な身延町下部地区と旧上九一色村であった甲府市の一部を所管地区としております。

管内の交通状況は国道140号と358号等の道路整備が進み、物流の増加とともに交通量も増加し、交通事故も両国道に集中して

いる傾向にあります。

当協会は悲惨な交通事故をなくするために住民一人ひとりの交通安全意識を高めることが重要であると考え、思いやる心ひとつで事故はゼロをスローガンとして、

### 交通安全なまがひをなくすために

市川交通安全協会 会長 八木 吉治



交通安全活動を展開しておりますが、特に「ヒト対策」の中心である年少者や高齢者を対象とした交通安全教育の推進を重点に日々活動しております。

交通安全活動を展開しております。また、その一環として、管内の温泉施設「みたまの湯」に歌手の三船和子さんを講師として招き、自らの事故体験談を題材にした交通安全の怖さ、復帰するま

かけを契機として、地域の子供達を事故や犯罪から守るため小中学校の下课時間帯に、通学路において街頭監視活動や交通指導を行うことを決定し、子供達の交通安全

規範意識を高めるとともに、犯罪から子供達を守る活動を展開し「安全安心なまちづくり」に貢献しているであります。

このような当協会の不断の地道な努力が実り、本年五月、関東交通安全協会連合会から優良交通安全協会としての栄誉をいただくことが出来ました。

これを励みとして今後とも交通安全事故「ゼロ」をめざし、関係機関・団体、市川警察署との連携を強め、絶ゆることなく地域のために地道に活動を続けていく所存でありますので、今後とも皆様のご指導、ご協力を宜しくお願いいたします。

### 高い無事故率

早く優しい地元のための教習  
山梨県公安委員会指定

### 岳麓自動車 教習所

富士吉田市新西原5-5-1  
☎0555-22-1689  
普一、大型一・二、大特  
けん引、自二  
(合宿施設有)



集中



奮起



激励



結束

平成18年8月2日(水)9時~17時  
第41回交通安全子供自転車大会

第四十一回交通安全子供自転車大会が、八月一・二の両日、グラウンドアーク半蔵門・東京ビックサイトで行われました。都道府県代表四十七小学校百八十八人が出場、一日目に交通ルールを問う「学科」、二日目に公道に似たコースを走る「安全走行」、ジグザク走行「技能走行」の各アストで競いました。

本県からは、十年連続で二十八回目となる高根東小学校が出場しました。かつて高根東小の選手としてこの大会に出場した清水徳生先生が昨年に引続き監督を務め、小尾直史君、小池恵暉君、田中雄大君、本田ころろさんが出場しました。

# 頑張った夏

## 北杜・高根東小 全国自転車大会で健闘

会場には、校長お手製の「めざせ! 全国制覇 北杜市立高根東小学校自転車クラブ」の大きな横断幕が掲げられ、その下で井出上校長、小宮山教頭、控への選手、父兄それぞれに交通安全協会の皆さんの応援のもと、選手は、出番の度に全員が整列して、「高根東小の応援団の皆さん応援ありがとうございませ」と元気に挨拶し大きな拍手に送られ頑張りました。



バイクの基本操作を学ぶ参加者



法規走行について実技指導を受ける参加者

講習終了後、受講者代表から「バイク運転の基本操作、運転理論を知ることの重要性を実感しました。生徒と心の通ずる指導をしていきたい」との決意の言葉がありました。

# 晴れ舞台に全力

## 二輪車 堀内さん個人15位



技能走行に挑戦する県代表選手 三重・鈴鹿サーキット

第三十九回全国二輪車安全運転大会が八月五、六の両日、三重県鈴鹿サーキットで全国大会が行われました。山梨県選手中は、六月二十四日に行われた山梨県大会において上位入賞した女性クラス(五〇c)の小俣優里奈選手、高校生等クラス(五〇c)の堀内力選手、一般Aクラス(四〇c)の窪田近夫選手、個人最高位は堀内選手の十五位でした。

大会出場に備え猛暑のなか毎週土・日に練習し、当日も本年最高の暑さの中がんばった選手各位、また練習から大会まで選手に付き添いきめ細やかなサポートをした山梨県二輪車安全推進委員会の川上会長、本当にご苦労様でした。

## バイク事故防止へ 高校教師が講習会

山梨県教育委員会の主催する、高等学校交通安全教育指導者講習会が、(財)山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全推進委員会の協力のもとに八月二十三日、県立山梨園芸高校の運転訓練コースで行われました。



講習終了後、受講者代表から「バイク運転の基本操作、運転理論を知ることの重要性を実感しました。生徒と心の通ずる指導をしていきたい」との決意の言葉がありました。

## 山梨県軽自動車協会

# 「軽自動車の今昔」

「軽自動車」の用語が認知され、その後、現在までに十一回の主な省令の改正がされ、現在の規格は、エンジン排気量が六〇cc以下、長さ三・四メートル以下、幅一・四メートル以下、高さ二メートル以下に定められ現在の姿となっています。

軽自動車は、昭和二十四年の運輸省令により、軽自動車、小型自動車、普通自動車及び特殊自動車の四種類に分類され誕生しましたが、昭和二十五年に車両規則の改正が行われ現在のよう二輪、三輪、四輪の区別がされました。

また、高齢者が増加したことから「経済性」などの観点からファーストカーとして使用される傾向が大きくなっています。次回も軽自動車を購入する意向は増加していますが、その理由としては『税金が安い』『価格が安い』『燃費が良い』という経済面での理由が挙げられています。

また、高齢者が増加したことから「経済性」などの観点からファーストカーとして使用される傾向が大きくなっています。次回も軽自動車を購入する意向は増加していますが、その理由としては『税金が安い』『価格が安い』『燃費が良い』という経済面での理由が挙げられています。

このように、軽自動車は、一段の足としての移動手段やコンパクトさから狭い道での扱いやすさ、運転のしやすさ、維持費などから県内においても必要不可欠なものではないでしょうか。

このように、軽自動車は、一段の足としての移動手段やコンパクトさから狭い道での扱いやすさ、運転のしやすさ、維持費などから県内においても必要不可欠なものではないでしょうか。

## 軽自動車は、ピタッ。



### 軽自動車の変遷

年月	長さ2.80m 幅1.00m 高さ2.00m 排気量150cc (4サイクル) 100cc (2サイクル) 出力1.20kW						備考											
	三・四輪車			二輪車			農耕作業車			備考								
	長さ	幅	高さ	排気量	出力	長さ	幅	高さ	排気量	出力	長さ	幅	高さ	排気量	出力			
昭和24年				4サイクル	2サイクル	2.50m	1.00m	2.00m	150cc	100cc	1.20kW						軽自動車の中に二輪、三輪、四輪の区別新設	
昭和25年7月	3.00m	1.30m	2.00m	300cc	200cc	2.50m	1.00m	2.00m	150cc	100cc	1.20kW						三、四輪の排気量の拡大	
昭和26年8月				360cc	240cc												二輪の幅の拡大	
昭和27年7月							1.30m											
昭和28年3月									250cc	150cc		4.30m	1.68m	2.00m	1500cc	1000cc	7.50kW	農耕作業車を追加し、二輪車の排気量を拡大
昭和29年10月				360cc					250cc						1500cc			4.2サイクルの別を撤廃
昭和32年6月												4.70m	1.70m					農耕用車の長さ、幅の拡大
昭和35年7月																		定格出力の廃止
昭和38年10月																		小型特殊自動車として区分
昭和47年6月																		軽自動車の検査実施 軽二輪は検査対象外
昭和50年9月	3.20m	1.40m		550cc														長さ、幅、排気量の拡大
平成元年2月	3.30m			660cc														長さ、排気量の拡大
平成8年9月	3.40m	1.48m																長さ、幅の拡大
現在	3.40m	1.48m	2.00m	660cc		2.50m	1.00m	2.00m	250cc									



## 最新機器と豊かな指導実績

### 山梨自動車学校

山梨自動車学校(野中隆幸校長)は入校者を募集しています。県交通総合センターの隣接地に新築移転したばかりの同校は、最新のコンピューター学習機器だけでなく、快適に運転免許が取得できるように、さまざまな環境が整えられています。

全車種の運転免許が取得できる県内でただ1つの学校でもあり、豊かな経験をもつインストラクターによる指導にも高い信頼が寄せられています。免許取得後にも安心できるサポート態勢が整えられています。合宿と同じ期間で取得できる短期コースも用意され、「合宿に行くより得」と好評です。

土曜日、日曜日、祝日も休まずに開校。入校生には携帯電話やインターネットからの予約システムも導入されています。



住所 〒400-0202 南アルプス市下高砂847  
休校日 年中無休  
電話 055-285-0752  
フリーダイヤル 0120-915752



## 自動車安全運転センター

### 安全運転管理は運転記録証明書から

会社における交通事故・交通違反の防止に効果があります…

#### ①「運転記録証明書」の申請方法

- ・証明書の必要な方は、最寄りの郵便局から郵便振替の方法により申し込むか、各地のセンター事務所へ直接申し込んで下さい。なお、申し込みは全国どこのセンター事務所でも受け付けます。(振替用紙はセンター事務所のほか、警察署・交番・駐在所などに備え付けてあります)
- ・証明書は、本人から委任を受けて企業などが一括して申し込むこともできます。詳細は、センター事務所にお問い合わせ下さい。
- ・証明書は、後日郵便でお届けするか、窓口で直接お渡しします。

手数料は、1通につき700円です。

#### ②証明書の内容

102-0084 東京都千代田区二番町3番地 安全 本部 庶務	管理番号 60001-1
運転記録証明書	
氏名 安全 太郎	現時点での ・行政処分の前歴回数 ・累積点数
生年月日 昭和30年4月11日生	交通事故の場合 ・年月日 ・内容(事故の種類と原因) ・点数
免許証番号 0000000000000000	運転免許の行政処分があった場合 ・年月日(処分がなされた日) ・内容
行政処分の記録	交通違反の場合 ・年月日(違反を起こした日) ・内容 ・点数(違反に伴う点数)
平成15年9月10日 安全運転記録違反(酒気帯り) 6点	過去1年間 過去3年間 過去5年間の3種類があります。
平成15年10月15日 停止 20日(累積 29日) 0点	
平成16年4月11日 復讐期間(赤色帯) 2点	
以下表示	
平成16年7月1日 現在の過去1年間の記録は、上記のとおりであることを証明します。	
平成16年7月1日	
自動車安全運転センター 〇〇〇 事務 所 長	

●事故・違反を繰り返す者への指導の強化が可能になります。(大事故に至る前に効果的な指導をすることが肝要です。)

「運転記録証明書」の申請者で、1年以上事故・違反等の記録がない方には、安全運転者であることを表すSDカードをお渡し致します。

### 自動車安全運転センター山梨県事務所

南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 http://www.jsdc.or.jp/  
FAX (055)285-2951